

松本善右平 まつもと ぜんすけ 評論家、政治家。明治二年四月静岡生れ、昭和十九年七月二十八日歿（一八七〇—一九四〇）。號世民、世民學人、春雪、燕子花小史、花浪生等。少壯アメリカに渡りファイラデルフィア大學等へ學んぶ。明治二十九年歸朝。『東京新聞』主幹、東京日日新聞社客員となぶ。論說執筆。三十一任東京政治學校を創立し、總長校長。また雜誌『大日本』を創刊し、支那に於けると英字新聞を發刊した。三十二年衆議院議員、立憲政友會所屬し、婦人参政權運動に盡力。昭和二年海軍參與官に任じ、アジア復興運動に従事。

譯書に、ヘンリー・アービンズ著『非淺術及劇論』（明治四十年八月五日讀賣新聞日航社）がある他、『新聞學—歐米新聞事業』（明治二十二年十一月三日博文館）、『青年の理想』（大正九年八月二十二日大日本文藝株式會社出版部南北社）等々著はす。

